

府高教 ニュース

2017年11月15日 (水)

速報 No. 4

発行所：大阪府立高等学校教職員組合
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館707号
☎06(6768)2106 FAX 06(6768)1675
http://osaka-fuko.dyndns.org/
eメールosakafko@jn3.so-net.ne.jp

長野北高校・柏原東高校をつぶすな!

大阪の高校を守る会

2万8,219名分の署名を提出

—府教委は11月17日に教育委員会会議を開催—

11月15日、大阪の高校を守る会は、この日までに集約された「長野北高校・柏原東高校の存続を求める署名」2万8219名分を府教委に提出しました。午後2時から国民会館小ホールで署名提出集会を開催し、各守る会から集約された署名を持って、3時からの記者会見、4時からの提出行動に臨みました。

校内食堂も署名に協力 (長野北)

区長会会長・中学校長会会長も署名 (柏原東)

提出集会には、長野北高校を守る会・柏原東高校を守る会から、赤ちゃんを抱いた保護者や卒業生、旧職員などが参加。咲洲高校や西淀川高校の関係者も駆けつけ、参加者は34名となりました。集会では、この間の取り組みが報告され、「一人で600筆の署名を集めた父母などPTAからどんどん署名が集まり1万名を超えた。食堂が置いてくれた署名にもたくさんさんの生徒が名前を書いてくれた」(長野北)、「地域に密着した取り組みを行ってきたことを背景に、市議会が全会一致で意見書を採択してくれ、区長会や中学校校長会の会長も署名に賛同してくれた」(柏原東)などが報告されました。

未来の子どもたちの学ぶ場を守れ!

府教委の責任を明らかにせよ!

など、参加者発言で府教委を厳しく追及

4時からの提出行動では、長野北、柏原東、大阪の高校守る会の代表が署名を手交しました。府教委側は再編整備課の土佐課長が署名を受け取り、「二つひとつの学校に歴史と伝統があり愛着があることは分かっており、府教委としてもそうした学校を支援してきたので重く感じている。しかし生徒数が大きく減る中、これからの中卒生の教育環境を良くするために再編整備は必要だ。そうした背景についてご理解いただきたい」と述べました。これに対し、保護者、卒業生、教職員、旧職員、西淀川高校の高校生など、参加者から10名が発言し、府教委を厳しく追及しました。参加者の発言を受けて、最後に府教委が「心に突き刺さる言葉をいただき重く受け止めている。募集停止校の生徒の最低限の教育環境はしっかり守っていきたい」と発言し、提出行動は終了しました。

【おもな参加者発言】

- ◆ 私たちは自分の学校への『愛着』から反対しているのではない。これからの子どもたちの学ぶ場を守るために学校を残せと言っている。
- ◆ 高校がなくなるといことは地域から若者がいなくなること。地方では35人学級が当たり前になっているのに40人据え置きでわずかな定員割れで学校をつぶすのは許せない。
- ◆ 「再編整備が教育環境を良くするため」など全く理解できない。エンパワメントは35人学級、エンパワを不合格になった子の学ぶ権利はどうなるのか。長北・柏原がなくなったら、毎年200名以上ずつ入学している子たちが具体的にどこに行くのか示せ。
- ◆ 募集停止校の子どもたちの教育を最後まで守ると言いながら現実には子どもが傷ついていることに怒りしかない。府教委の責任を明確にせよ。
- ◆ 廃校を前提に学校をピックアップしているようにしか見えない。
- ◆ 学校をしっかりと残り盛り上げることこそ最大の条件整備だ。
- ◆ 背景を理解せよと言うが今出されている高校つぶしには道理がない。署名に込められた思いを、17日の会議で教育委員にきちんと伝えよ。